

クロアチア情勢

主な出来事

2018年4月

内政

- 3日、ドゥスパラ・スラボンスキ・ブロッド市長は、3月28日に発生した水質汚染問題に関して、検察当局に被疑者不明で刑事告訴。
- 7日、スラボンスキ・ブロッドにおいて、大気・水質汚染に関し、数百人規模の抗議デモ。
- 11日、閣外協力政党であったクロアチア成長党（H R A S T）（議員数1名）がイスタンブール条約批准に反対して、政権支持の立場から離脱。
- 11日、教育・科学技術戦略の実施のための特別専門家委員会は、教育改革実施のための専門家タスクフォース（E T F）のメンバー12名を指名。プレンコビッチ首相は、E T F 担当特別政府顧問としてフクス氏を指名。
- 12日、議会において、クロアチアのN A T O加盟9周年を記念する式典が開催。
- 12日、スプリットにおいて、イスタンブール条約の批准に反対する1万5千人規模の抗議デモ。
- 13日、議会は、イスタンブール条約の批准に関する議会投票を実施。議員151人中、賛成110票、反対30票、棄権2名、欠席9名で批准が決定。（与党クロアチア民主同盟（H D Z）55人のうち、賛成38票、反対14票、棄権1名、欠席2名。）また議会は、同日、野党が提出したダリッチ副首相兼経済・中小企業相に対する不信任決議案を、賛成71票、反対76票で否決。
- 13日、N G O団体「市民の決断」は、27日まで、イスタンブール条約の批准に反対する署名を開始。
- 14日、約200名のスラボンスキ・ブロッドの住民が、同市における大気・水質汚染をめぐり、ザグレブの政府庁舎の外で抗議デモ。
- 15日、当地ユダヤ人コミュニティ主催によるヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼式典が開催。
- 19日、クロアチア議会は、イエレニッチ最高検察官をツビタン前最高検察官の後任として承認。
- 20日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ヤセノバツを訪問し、強制収容所犠牲者を追悼。
- 21日、「反ファシスト闘争者と反ファシスト連盟（S A B A）」及び「セルビア民族評議会（S N V）」共催によるヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼式典が行われ、ハイダシュ＝

ドンチッチ議会副議長（社会民主党（SDP）所属）、ベルナルディッチSDP党首らが出席。

●22日、クロアチア政府主催のヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼式典が開催され、プレニコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議長らが出席。

●27日、プレニコビッチ首相、クルスティチェビッチ副首相兼国防相及びボジノビッチ内務相は、国家安全保障及びEU外交・安全保障に関する会議に出席。

●27日、議会利益相反委員会は、アグロコル問題に関する会議にマリッチ財務相が出席したことについて違法性はないと判断。

●29日、野党「人間の壁」は、ザグレブ市内において、第1回党大会を開催。

外交

●3日、ポーランドにおけるNATO「前方展開強化（eFP）」任務へのクロアチア軍第2次派遣団の派遣式典がビンコブツィで開催。

●4日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ソフィアを訪問し、ラデフ・ブルガリア大統領、ボリスフ・ブルガリア首相及びカラヤンチェヴァ・ブルガリア国民議会議長と会談。

●4日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、クニンにおいて、クロアチア軍と英軍の合同軍事演習を視察。

●4－5日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ボスニア・ヘルツェゴビナ（BH）に訪問。4日、ツルナダクBH外相と会談。5日、在ボスニアクロアチア大使館において、クロアチア経済会議所サラエボ事務所の開設式典に出席。

●6日、プレニコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ザグレブにおいて、ロワゾー仏欧州問題担当相と会談。

●9－10日、プレニコビッチ首相は、モスタルを訪問し、クロアチア経済会議所モスタル事務所開設の公式式典に出席。10日、チョービッチBH・HDZ党首（BH大統領評議会メンバー）と会談及び第21回国際経済フェアの開催式典に出席。

●10日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレニコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長は、当国を訪問したニーニスト・フィンランド大統領と会談。

●11日、外務・欧州問題省は、国際刑事法廷メカニズム（MICT）上訴裁判部によるシェシェリ被告の有罪判決に関して、同判定を歓迎する旨プレスリリースを発出。

●13日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びプレニコビッチ首相は、ザグレブにおいて、カタイン欧州委員会副委員長（雇用・成長・投資・競争力担当）と会談。また、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ミミツァ国際協力・開発担当欧州委員と会談。

●16日、プレニコビッチ首相及びダリッチ副首相兼経済・中小企業相は、当国を訪問したクリムプシェ＝ツィンツァゼ・ウクライナ欧州統合問題担当副首相と会談。同日、クロアチア・ウクライナ経済協力委員会の第1回会合が開催。

- 17日、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、当国を訪問したヤーグラン欧州評議会事務局長と会談。
- 17日、外務・欧州問題省は、スロベニアとの国境画定問題に関し、欧州委員会の求めに応じて、自国の立場についての書簡を同委員会に提出。
- 18日、ヤンドロコビッチ議会議長率いるクロアチア代表団のセルビアの公式訪問。ヤンドロコビッチ議会議長とゴイコビッチ・セルビア議会議長の会談後、セルビア議会の前において、シェシェリ・セルビア急進党党首らがクロアチア国旗等を冒涇する事件が発生し、同代表団は残りの日程を取り止め、クロアチアに帰国。
- 20－22日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、トロントを訪問。21日、フリーランド・カナダ外相と会談し、フリーランド外相は、クロアチアのOECD加盟の支持を表明。22日、G7外相会合に出席。
- 21日、外務・欧州問題省は、ブリン・セルビア国防相がクロアチアへの入国はブチッチ・セルビア大統領の判断による等の発言を非難する抗議文書を、セルビア大使館宛てに送付。また、同国防相をペルソナ・ノン・グラータとして指定。
- 23－24日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ニューヨークを訪問。23日、南東欧協力プロセス（SEEC P）外相会合、国連安全保障委員会の公開討論に出席。24日、国連総会ハイレベル会合に出席、また、ライチャーク国連総会議長と会談し、BHの更なる安定化を目指した国際社会の努力の向上における現状課題や可能性について意見交換。
- 24日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ジグマノブ・セルビア・ボイボディナ・クロアチア系民族民主連盟代表と会談。セルビアのクロアチア系民族の状況改善等について意見交換。
- 24日、プレンコビッチ首相は、スロベニアで開催されたSEEC P首脳会合に出席。
- 25－26日、ヤンドロコビッチ議会議長は、スウェーデンを訪問し、26日、ヴィクトリア・スウェーデン皇太子と会談。
- 26日、セルビア政府は、クロアチア政府がブリン・セルビア国防相をペルソナ・ノン・グラータとして指定したことに対する対抗措置として、クルスティチェビッチ副首相兼国防相をペルソナ・ノン・グラータに指定。
- 26－27日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スコピエを訪問。26日、イヴァノフ・マケドニア大統領と会談。27日、ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合に出席。
- 27日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたNATO外相会合に出席。

経済

- 4日、クロアチア道路公社は、ペリエシャツ橋及びアクセス道路建設事業の監督業務に関する入札結果を公表。地元企業のCivil Engineering Institute of Croatia社からなるコンソーシアムが落札。

- 6日、ザグレブ商業裁判所は、アグロコル法に定めるアグロコル社と債権者間の和解協定の締結期限（4/10）を、3か月間延長することを承認。
- 9日、LNGクロアチア社は、現在建設中のクルク島LNGターミナルに関して、将来のターミナル使用権に係る第1次入札を締切。応札企業はINA社1社となり、年間24億立方メートルのガス生産能力に対して、1億立方メートルの応札。
- 10日、クロアチア政府は、ハンガリー系石油会社MOL社が保有するINA株の購入等を検討するためのアドバイザーとして、米系投資コンサルタント会社モルガン・スタンレーほか2社からなるコンソーシアムを選定したことを発表。
- 10日、アグロコル社は、同社の債務整理・企業再編に関する和解協定案について、債権者及びサプライヤーとの間で大枠合意したことを発表。
- 12日、ハンガリーの石油会社MOL社は、INA社のアルドット現CEOが今年6月に退任し、後任にMOL社の取締役会の現メンバーであるファジモン氏を充てることを発表。
- 12日、クロアチア政府は、LNG法に関する公開協議を開始。
- 16日、ペリエシャツ橋及びアクセス道路建設事業の入札結果を巡り、オーストリア系ストラバグ社は、ザグレブ行政裁判所に対して上訴。
- 19日、LNGクロアチア社は、フランチッチ現CEOの退任と、後任に前クロアチア炭化水素庁長官のドリッチ氏を指名したことを発表。
- 19日、INA社の新CEOに就任予定のファジモン氏は、同社のシサク石油精製施設の一部を閉鎖する方針を表明。
- 19日、クロアチア政府は、3000名以上のインターンを、医療、教育、福祉、文化の分野に係る政府機関で採用することを決定。2017年に決定した「雇用活性化措置の推進・実行に向けたガイドライン2018-2020」に基づく措置。
- 20日、クロアチア統計局は、財政収支を公表。2017年の収支は対GDP比+0.8%となり、2002年の統計開始以来、初めての黒字化。また、2017年末時点の政府債務残高は対GDP比78%となり、2012年以降最も低い水準に改善。
- 23日、クロアチア道路公社と中国路桥工程有限公司は、ペリエシャツ橋及びアクセス道路建設事業に係る契約書に署名。また、同公社は、地元企業のCivil Engineering Institute of Croatia社と、同事業の監督業務に係る契約書にも署名。
- 23日、ザグレブ行政裁判所は、ペリエシャツ橋及びアクセス道路建設事業の入札結果を巡るオーストリア系ストラバグ社の上訴のうち、同事業の着工差止めを求める訴えに関して棄却。クロアチア政府公共入札監視委員会の裁定の取消を求める訴えについては、審理を継続。
- 23日、LNGクロアチア社は、LNGターミナルの使用権に関する第2次入札を6月22日まで延期することを発表。
- 25日、クロアチア環境保護・エネルギー省は、環境車の購入に対する補助金制度を開始。電気自動車に対して最大8万クーナ、プラグイン・ハイブリッド車に対して最大4万クーナの補助を支給。

● 26日、クロアチア政府は、欧州委員会が進める「ヨーロッパ2020戦略」の実施に向けた基本方針となる「国家改革プログラム2018」と、ユーロの導入に向けた「収斂計画」を承認。

● 26日、クロアチア統計局は、失業率を公表。3月は11.5%と、前月より改善。

● 27日、クロアチア政府は、支払期限を過ぎた債務の保有により銀行口座を凍結された市民を救済するため、関連法案をとりまとめることを発表。今夏の議会の休会前に立法化を図りたい考え。

主要経済指標

(2018年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(2月)	輸入総額(2月)	貿易赤字(2月)	工業生産高(3月) 対前年同月比	インフレ率(3月) 対前年同月比	失業率(登録制)(3月)
155億クーナ 21億ユーロ (-1.2%)	254億クーナ 34億ユーロ (6.7%)	99億クーナ 13億ユーロ (+22.2%)	-1.7% (2月:+3.3%)	+1.1% (2月:+0.8%)	11.5% (2月:12.3%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。